

全科協 第28回研究発表大会 発表募集要項

- 主 催 : 全国科学博物館協議会, 一般財団法人全国科学博物館振興財団
- 大会日時 : 令和3年2月26日(金) 10時30分～15時20分頃まで(予定)
※前日は, 全科協の理事会・総会等を予定
- 会 場 : オンライン会議 (ZOOM を活用)

テ ー マ : 博物館の社会的役割を考える
～多様性をつなぐコミュニケーションの新たな展開

大会趣旨 : 世界中に拡大した新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は博物館に対しても多大な影響を与えています。我が国においても緊急事態宣言が発出され, 各種イベント等が中止, 延期等の措置となり, 科学系博物館においても同様の対応を採ることが必要な事態となりました。また, 当初日常生活において不要不急要件での外出を自粛せざる負えなくなり, 博物館にも行くことが難しい状況となりました。そこで各館は「制限つき運営」やオンラインを活用した映像等で情報提供・発信等を行うことで対応したようです。これはリアルの世界への回帰を想定しての動きでありましたが, 今では双方に利点を見出し, 今後並立する可能性が示唆されるようになってきました。

明らかになったことは, 人と人, 人と社会との交流がいかに大切なことであったかということです。博物館はこれまでその場とコンテンツ等を提供してきました, また, 障害者や高齢者, 子育て世代等, 住民や地域の多様なセクターとの関係の構築も進めてきました。そして, コロナ禍の中でますますそれらは重要な課題となっています。

そこで今回は多様性をつなぐコミュニケーションの新たな展開の視点から考える科学系博物館の新たな社会的役割をテーマとし, 各館の研究や活動事例を幅広くご報告いただきながら議論する機会としたいと考えます。また, 現下の状況に鑑み, 感染防止対策や今後の博物館経営の在り方についても報告を募集します。

できるだけ多くの方に発表いただけるような大会運営を予定しておりますので, 是非この機会に多くの皆さまにご参加いただき, 有意義な意見交換ができる場になればと考えております。

1. 募集内容：

- 発表内容 加盟館園の事業運営に参考となる事例や研究
(1) コロナ禍の中の新たな展示や学習支援活動、インターネットの活用等
に関する内容
(2) 住民や地域の多様なセクターとの連携等に関する内容
(3) 障害者、高齢者、外国人等、多様な人々を包摂する展示、学習支援活
動等に関する内容
(4) その他、コロナ禍における感染防止対策、持続可能な運営等に関する
内容

等

口頭発表

- 発表時間 15分程度を予定
※応募の状況によって、発表時間や形式を変更する場合があります。
- 発表者の条件 全科協加盟館園の職員で、12月下旬に予稿を提出いただける方

2. 応募方法：

別添の用紙にて、FAX又はEメールにてご応募ください。

※用紙のデジタルデータは全科協ホームページからダウンロードいただけます。

<全科協ホームページ> <http://jcsn.jp/>

■応募先 全国科学博物館協議会 事務局

■締め切り **12月4日（金）※当日必着**

3. 結果の通知等： 12月11日（金）頃までに、応募結果をお知らせします。

4. 問い合わせ先： 全国科学博物館協議会 事務局 担当：持田、苫米地、松舘

TEL 03-5814-9863

FAX 03-5814-9899

Eメール info@jcsn.jp

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

国立科学博物館 科学系博物館イノベーションセンター
展示開発・博物館連携グループ内